

エジプトの苦しみ

出エジプト記一章

3/

そこでエジプト人は、労役の長をイスラエルの民の上に置き、重い苦役を与えて苦しめた。イスラエルの民はファラオの倉庫の町、ピトムとラメセスを建設した。(11)

エジプトに渡ってきたヤコブ一族は次第に数が増して行きました。時代は進み、エジプトの危機を救ったヨセフのことを知らない王が即位すると、増大したイスラエル人の力を削ぐために、強制労働をもつて彼らを厳しく支配するようになりました。人々を過酷な労働に追い立て、生まれた男の子を殺すようにと命じます。イスラエル民族にとって最も苦しかった時代のことがここに記されています。忘れてしまいたいような苦しみ、悲しみの数々ですが、イスラエルの民が聖書に記録した後々にまでこの苦しみを伝えたのは、「あの苦しみの底から私たちは救われたのだ」ということを忘れないためでした。神がどんなに大きなことをしてくださったのか、その救いの恵みを常に覚えて生きるためでした。私たちの信仰生活においても、私たちがどこから救われたのかを常に心に留めていたいものです。